



Maple Network Tools インストール・設定手順書

更新日 2024/03/06

はじめに

- ◆ この手順書は、Windows 64bit、macOS、Linux 版に対応しております。
- ◆ この手順書の説明画面は、Windows 版の Network Tools 2022 のインストーラを用いて作成しています。他の OS、バージョンでも同様の画面がでますので、**適宜置き換えて**ご参照ください。
- ◆ 各 OS に対する必要な手順をアイコンで示しています。アイコンの説明は以下の通りです。

 . . . Windows 64bit

 . . . Linux

 . . . macOS

- ◆ インストールに関する不明点や疑問点に関しては、サポートまでご連絡をお願いいたします。
https://jp.maplesoft.com/contact/webforms/support_JP.aspx

※当マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

インストールおよび設定手順書

- ◆ SECTION 1: Maple Network Tools のインストール
 - ◆ SECTION 2: Maple 関連製品のアクティベーション
 - ◆ SECTION 3: ライセンスマネージャの起動
-

◆ SECTION 1: Maple Network Tools のインストール

Win64

1. インストーラの実行ファイルを右クリックし、**[管理者として実行]** を選択し、インストーラを起動してください。
 - Windows 64-bit 版 . . . **NetworkToolsWindowsX64Installer.exe**
 - Windows 64-bit 版 (2022以前) . . . **NetworkToolsWindowsX64Installer_ja.exe**

Linux

macOS

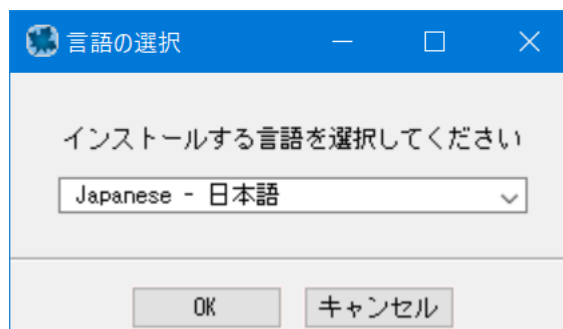
1. インストーラを実行します。ターミナルで実行するコマンドは以下を参照ください。
 - Linux 版 . . . **NetworkToolsLinuxX64Installer.run**

```
chmod +x NetworkToolsLinuxX64Installer.run
./NetworkToolsLinuxX64Installer.run
```
 - macOS 版 . . . **NetworkToolsMacInstaller.dmg**
 - macOS 版 (2022以前) . . . **NetworkToolsMacInstaller_ja.dmg**

Win64

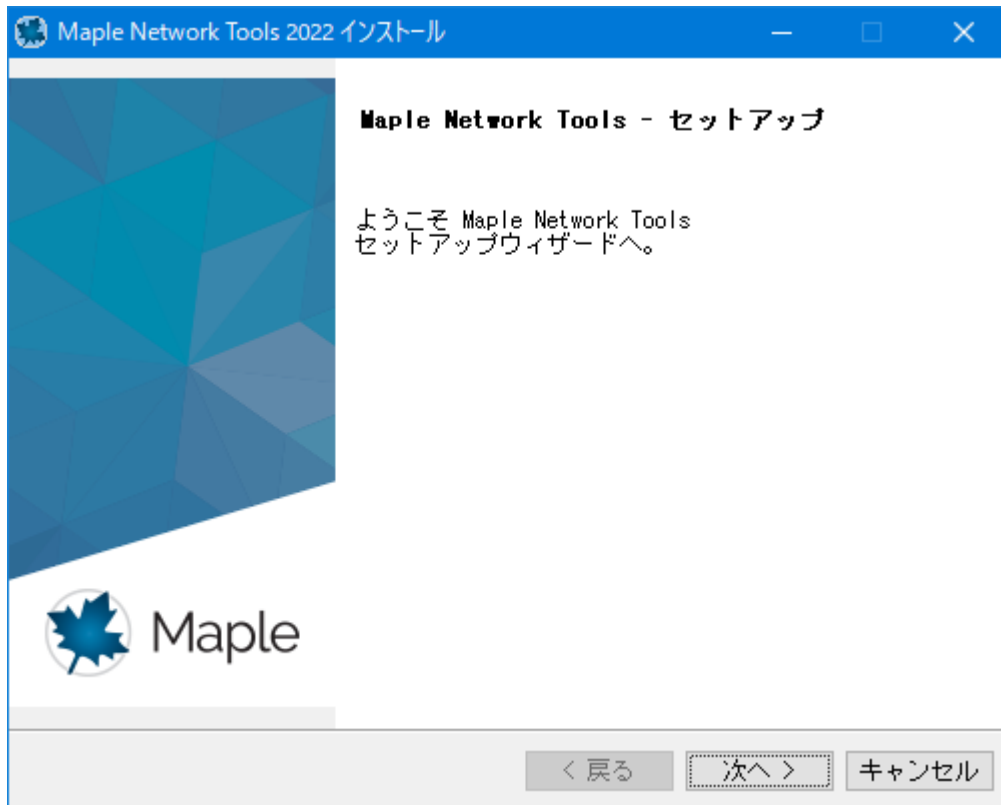
macOS

2. インストーラが起動しましたら、言語を選んで、**[OK]** をクリックしてください。



[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

3. [セットアップ] が表示されましたら、[次へ] をクリックしてください。

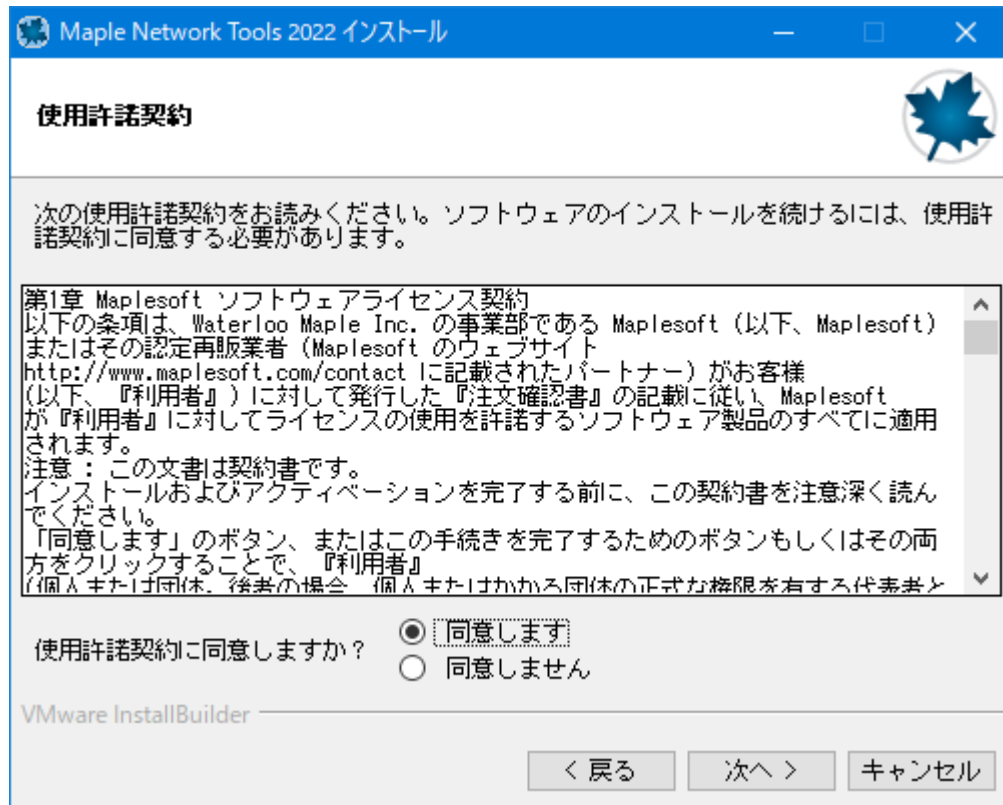


Win64

Linux

macOS

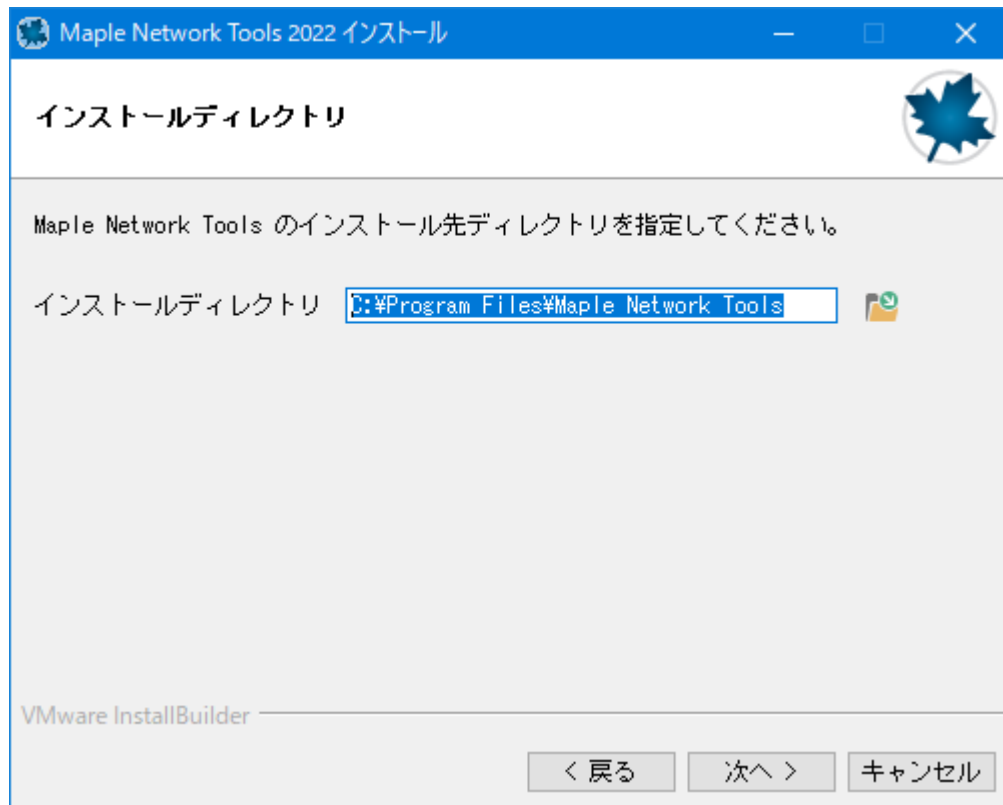
4. 使用許諾契約をお読みいただき、[同意します] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

5. インストールフォルダを指定し、[次へ] をクリックしてください。

※macOS ではインストールパスを指定できません。



Win64

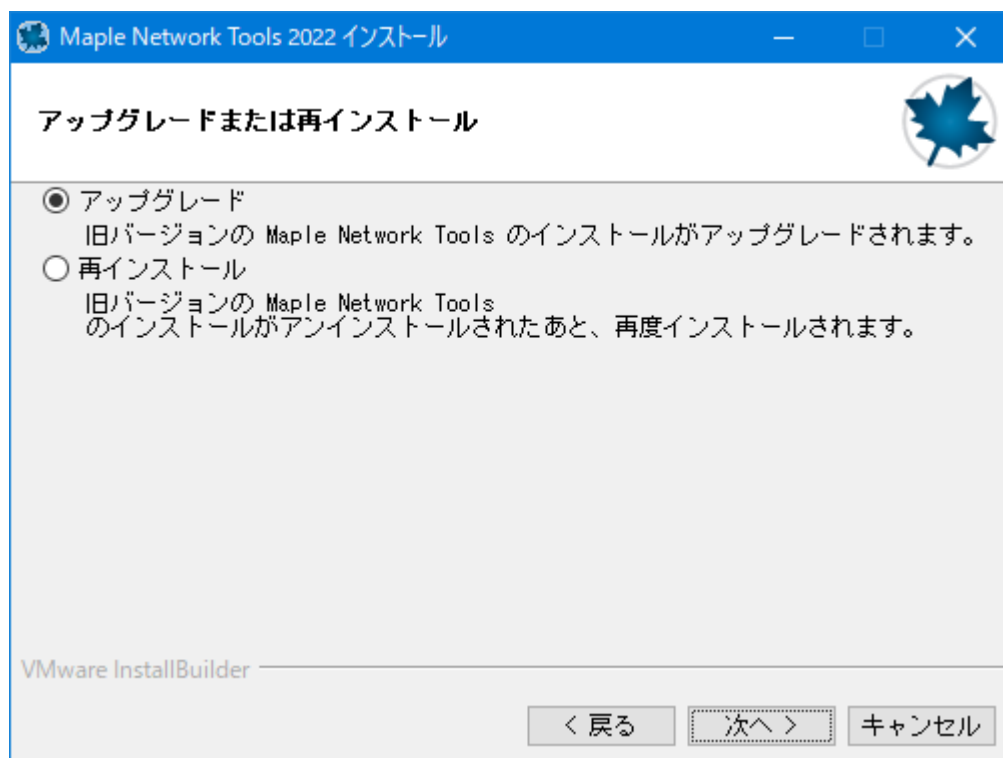
Linux

macOS

6. インストール済みの Maple Network Tools を検出すると、以下のようなダイアログが表示されます。
※はじめてインストールされる場合は、このダイアログは表示されません。次の手順へお進みください。

[アップグレード] もしくは [再インストール] のいずれかを選択し、[次へ] をクリックしてください。
[アップグレード] を選択された場合は、手順 [10.] へお進みください。

Maple Network Tools のバージョンアップに関しては、基本的には [アップグレード] で問題ありません。
アップグレード後にエラーが発生した場合や、過去にアップグレードでエラーがあった場合は [再インストール] の方を選択してください。

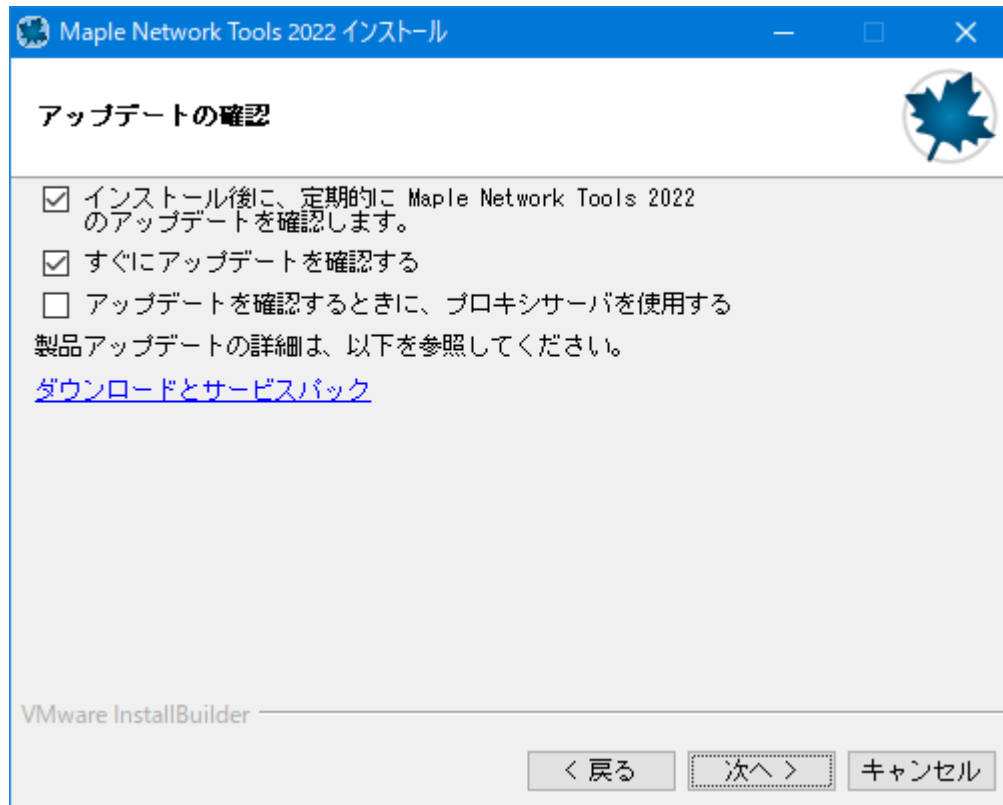


Win64

Linux

macOS

7. アップデートの確認を選択し、[次へ] をクリックしてください。
インターネットの接続でプロキシサーバを経由している場合は、
[アップデートを確認するときに、プロキシサーバを使用する] をチェックしてください。

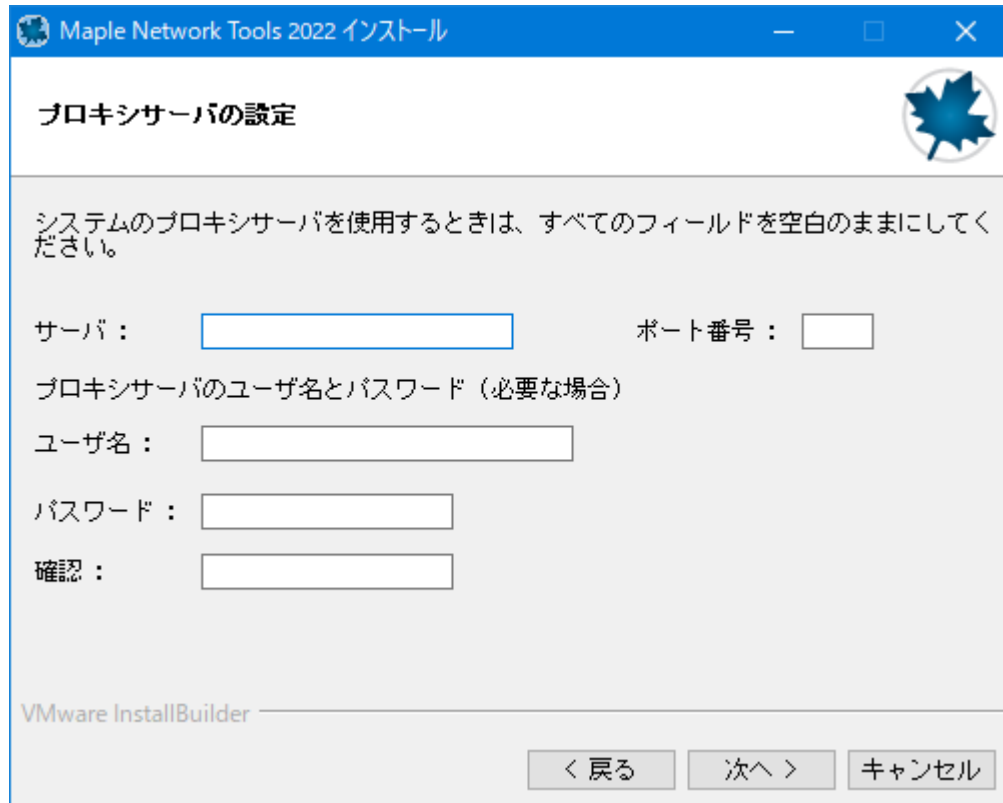


Win64

Linux

macOS

8. [7.] で [アップデートを確認するときに、プロキシサーバを使用する] をチェックした場合は、プロキシ情報を入力してください。必要項目に入力ができたら、[次へ] をクリックしてください。



Maple Network Tools 2022 インストール

プロキシサーバの設定

システムのプロキシサーバを使用するときは、すべてのフィールドを空白のままにしてください。

サーバ: ポート番号:

プロキシサーバのユーザ名とパスワード (必要な場合)

ユーザ名:

パスワード:

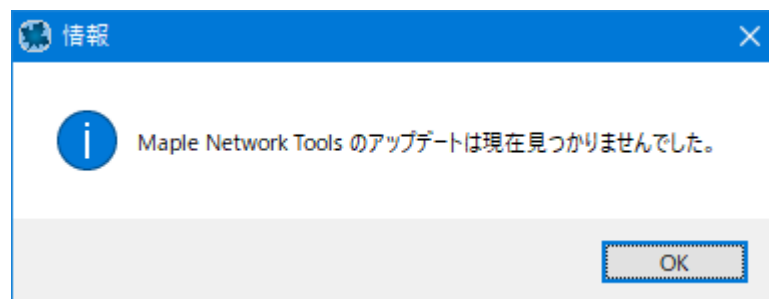
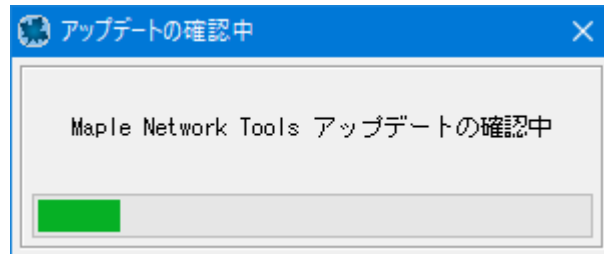
確認:

VMware InstallBuilder

< 戻る 次へ > キャンセル

[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

9. [7.] で [すぐにアップデートを確認する] をチェックした場合は、結果を確認し、[OK] をクリックしてください。

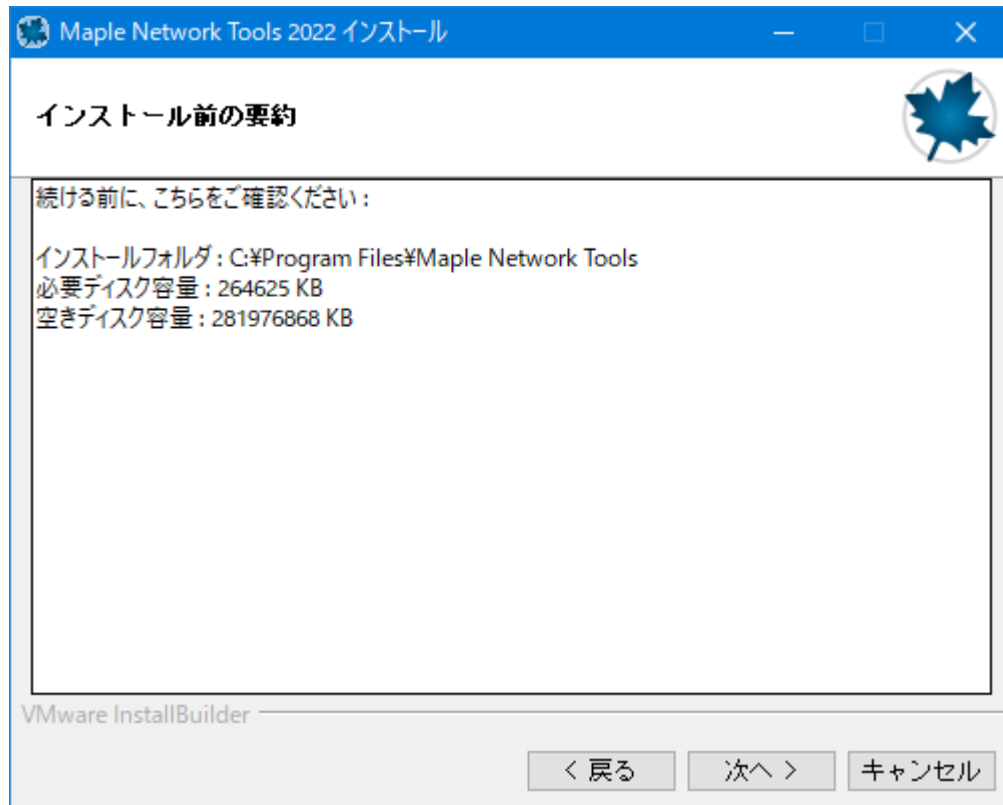


Win64

Linux

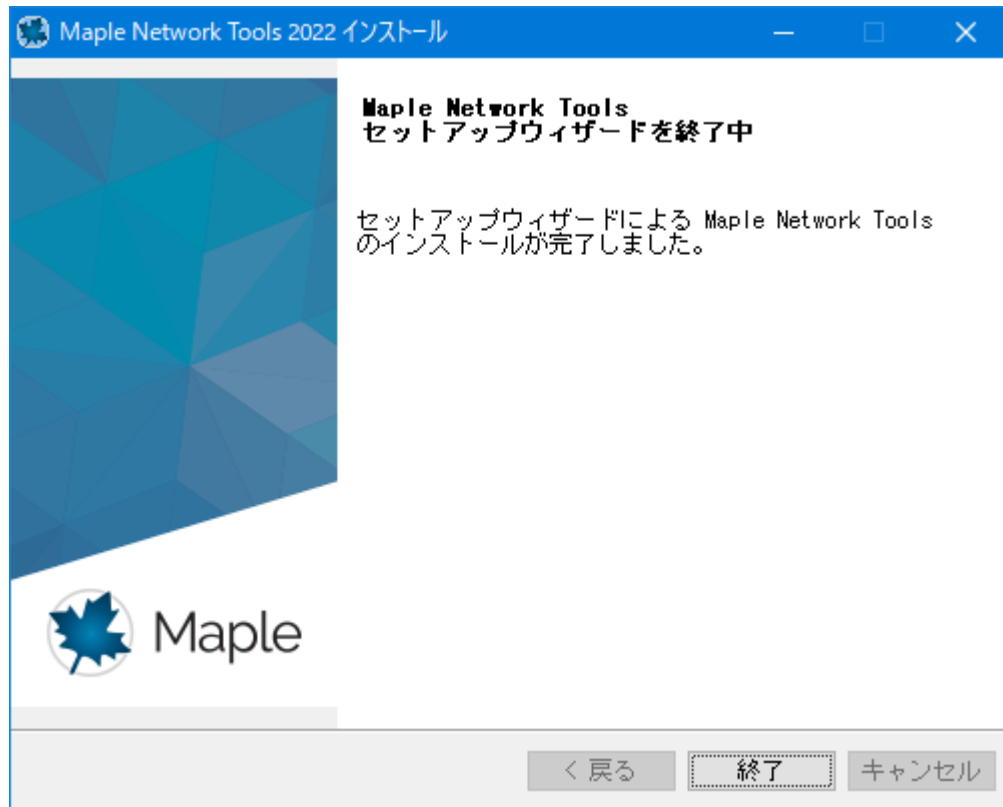
macOS

10. インストール前の要約を確認し、[次へ] をクリックしてください。



[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

11. インストールが完了しましたら [終了] をクリックしてください。

[Win64](#)[Linux](#)[macOS](#)

12. 以上で Maple Network Tools のインストールが完了しました。

◆ SECTION 2: Maple 関連製品のアクティベーション

アクティベーションとは、Maple Network Tools をインストールしたライセンスサーバマシンに、インターネット経由で Maplesoft 社のライセンス管理サーバから、お使いのサーバマシン情報に基づいてライセンスファイルを取得するための処理のことを指します。

【重要】

ご利用可能な製品のバージョンは、**アクティベーションしたバージョンを含む過去3バージョンまで**となります。

インターネットに接続できない環境の場合、アクティベーションを行うことができません。

この場合は、インターネットに接続できるマシンで「代理アクティベーション（オフラインアクティベーション）」を行います。

<https://faq.maplesoft.com/s/article/How-do-I-perform-an-offline-activation-of-Maple?language=ja>

ご不明な場合は、当社が代理でアクティベーションを行います。サポート窓口よりお申し込みください。

Win64

1. **C:\Program Files\Maple Network Tools\activate** を開き、**activation.exe** を右クリックし、
[管理者として実行] をクリックしてください。
※パスはデフォルトの設定

macOS

1. **/Users/<username>/Maple Network Tools/activate** を開き、**activation** を実行してください。
※パスはデフォルトの設定。<username>はユーザ名を入力してください。

Linux

1. **/home/<username>/MapleNetworkTools/activate** を開き、**activation** を実行してください。
※パスはデフォルトの設定。<username>はユーザ名を入力してください。

64-bit Linux でのアクティベーションに問題がある場合、またはアクティベーションの実行時にアクティベーションウィンドウが表示されない場合、一部の 32-bit 互換ライブラリが不足している可能性があります。

以下の FAQ を参考に、対応するライブラリをインストールしてください。

<https://faq.maplesoft.com/s/article/Maple-is-not-activating-on-64-bit-Linux?language=ja>

Win64

Linux

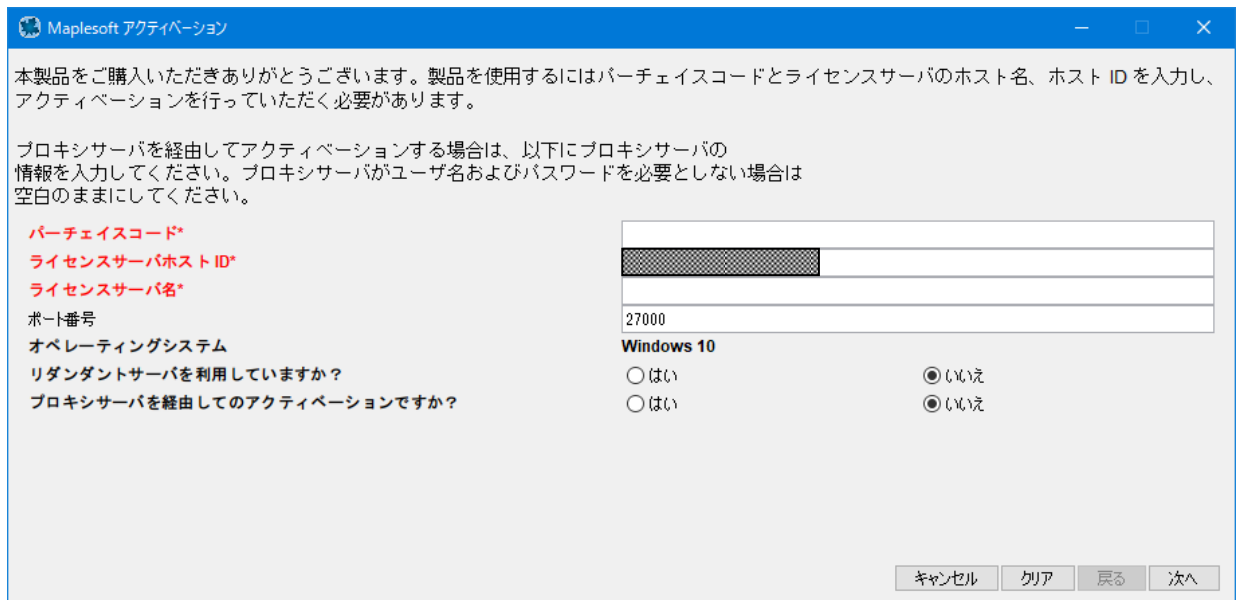
macOS

2. アクティベーション画面が表示されましたら、パーチェスコードとライセンスサーバ名を入力してください。ポート番号はデフォルトでは 27000 ですが変更が可能です。解放されているポート番号を指定してください。
 ※パーチェスコードは**ネットワーク版**のパーチェスコードです。

インターネットへの接続でプロキシサーバを経由している場合は、[プロキシサーバを経由しての…] で [はい] を選択し、プロキシサーバの情報も入力してください。

リダンダントサーバを利用する場合は、[リダンダントサーバを利用していますか?] で [はい] を選択します。

必要項目を入力後、[次へ] をクリックしてください。



Maplesoft アクティベーション

本製品をご購入いただきありがとうございます。製品を使用するにはパーチェスコードとライセンスサーバのホスト名、ホスト ID を入力し、アクティベーションを行っていただく必要があります。

プロキシサーバを経由してアクティベーションする場合は、以下にプロキシサーバの情報を入力してください。プロキシサーバがユーザ名およびパスワードを必要としない場合は空白のままにしてください。

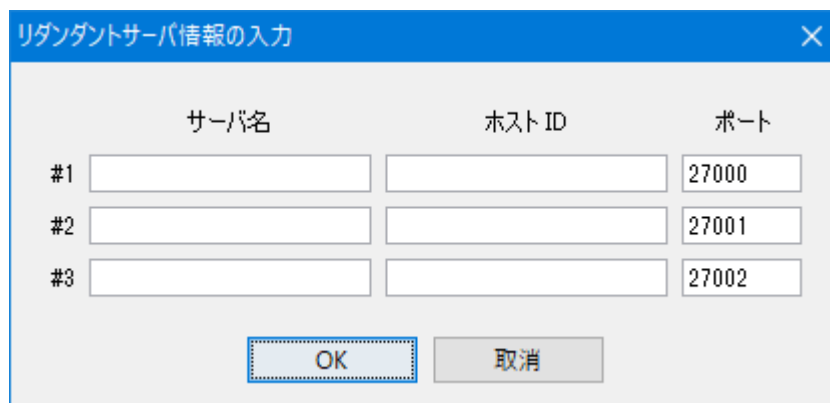
パーチェスコード*
ライセンスサーバホスト ID*
ライセンスサーバ名*
 ポート番号
 オペレーティングシステム
 リダンダントサーバを利用していますか?
 プロキシサーバを経由してのアクティベーションですか?

27000
 Windows 10
 はい いいえ
 はい いいえ

キャンセル クリア 戻る 次へ

※[リダンダントサーバを利用していますか?] で [はい] を選択すると次の画面が表示されます。

必要項目を入力後、[OK] をクリックしてください。



リダンダントサーバ情報の入力

	サーバ名	ホスト ID	ポート
#1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	27000
#2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	27001
#3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	27002

OK 取消

Win64

Linux

macOS

3. 入力したパーチェスコードでアクティベーション可能な製品がリスト表示されます。

アクティベーションする製品を一覧から選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

(※単一製品しかアクティベーションできないパーチェスコードを使用する場合、このステップはスキップされます。)

【重要】

同じパーチェスコードで複数の製品（Maple、MapleSim、各種アドオン製品）をアクティベーションする場合は、**1つ1つの製品ごとにアクティベーションを繰り返し行う必要があります。**（手順1から作業を繰り返してください。）



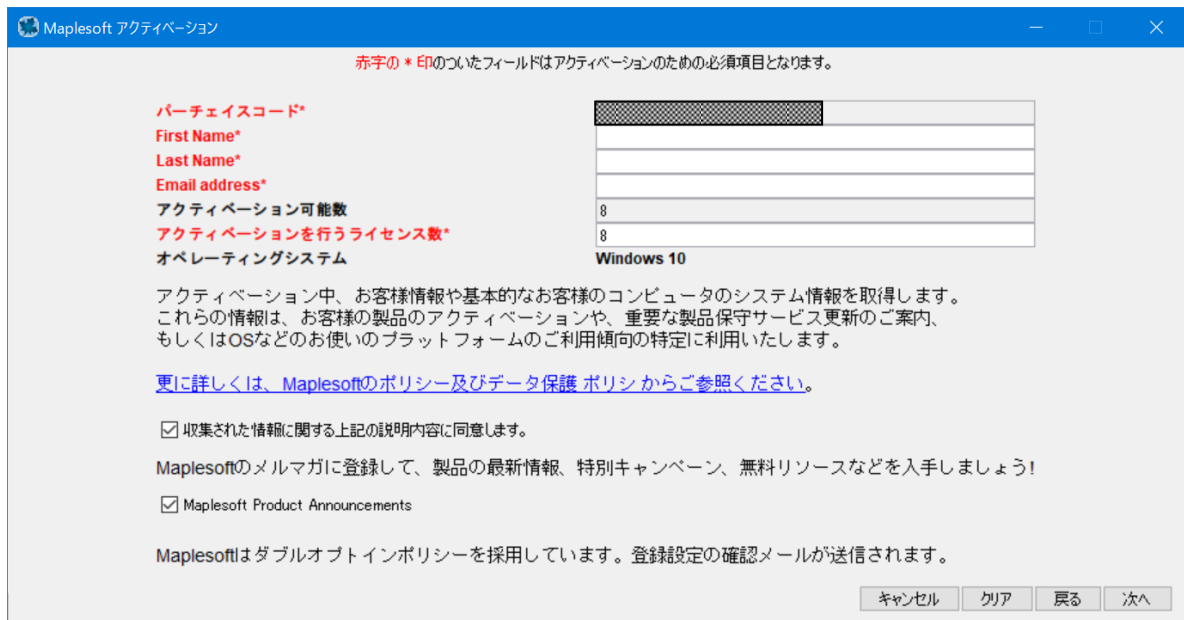


4. 必要項目を入力し、[収集された情報に関する上記説明内容に同意します。]に同意（チェック）いただき、[次へ] をクリックしてください。

※[アクティベーションを行うライセンス数] は、ご購入のライセンス数を上限に指定することができます。
 （現在アクティベーション可能なライセンス数が [アクティベーション可能数] として表示されています。）

サーバ上で管理するライセンス本数 を指定してアクティベーションしてください。

→ライセンス数の入力を間違えて実行した場合、パーチェスコードのリセットと再アクティベーションが必要になります。
 技術サポートまでご連絡ください。（指定した本数でのみアクティベーション可能です。後で本数の追加はできません。）



Maplesoft アクティベーション

赤字の * 印のついたフィールドはアクティベーションのための必須項目となります。

パーチェスコード*
 First Name*
 Last Name*
 Email address*
 アクティベーション可能数
 アクティベーションを行うライセンス数*
 オペレーティングシステム

8
 8
 Windows 10

アクティベーション中、お客様情報や基本的なお客様のコンピュータのシステム情報を取得します。これらの情報は、お客様の製品のアクティベーションや、重要な製品保守サービス更新のご案内、もしくはOSなどのお使いのプラットフォームのご利用傾向の特定に利用いたします。

[更に詳しくは、Maplesoftのポリシー及びデータ保護 ポリシ からご参照ください。](#)

収集された情報に関する上記の説明内容に同意します。

Maplesoftのメルマガに登録して、製品の最新情報、特別キャンペーン、無料リソースなどを入手しましょう!

Maplesoft Product Announcements

Maplesoftはダブルオプトインポリシーを採用しています。登録設定の確認メールが送信されます。

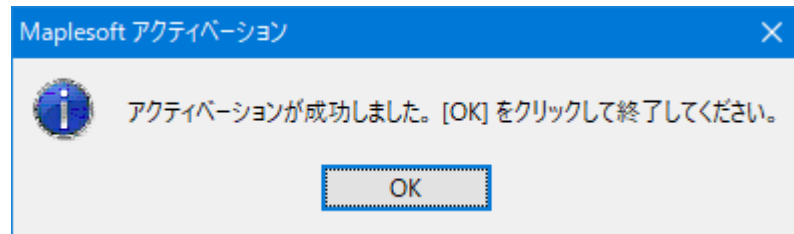
キャンセル クリア 戻る 次へ

Win64

Linux

macOS

5. アクティベーションが正常に完了しましたら、次の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
(同様の手順で、**必要な製品ごと** にアクティベーションを行います。)



重要 : 古いバージョンのライセンスファイルがある場合 (製品のバージョンアップ時)

アクティベーションを実施するとライセンスファイルが生成されます。

古いバージョンのライセンスファイルと、新しいバージョンのライセンスファイルの双方が同一フォルダ内にあると、**これらのライセンスファイル同士が競合してしまいます。**

製品のバージョンアップに伴うアクティベーションを行った場合は、ライセンスマネージャの再起動前に、古いライセンスファイル一式を削除するか、別のフォルダに退避させるなどしてください。

◆ SECTION 3: ライセンスマネージャの起動

以下のフォルダ名に含まれる FLEXlm のバージョンは、Maple Network Tools のバージョンにより異なります。
ご確認の上、**適宜置き換えて**ご参照ください。

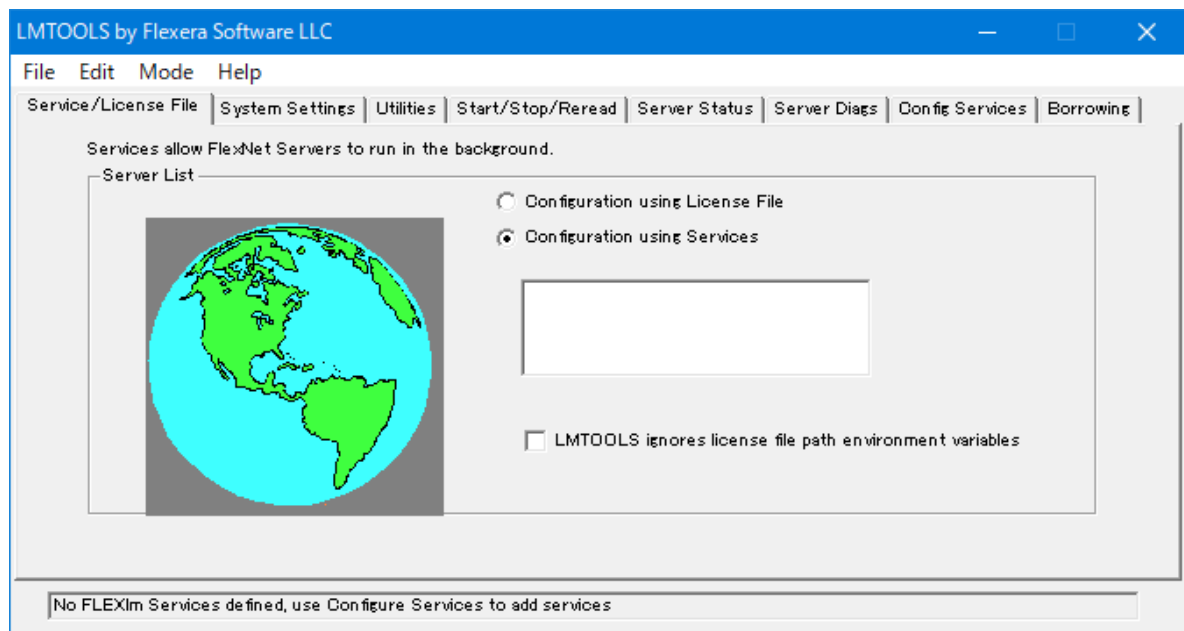
Windows:

Win64

1. **C:¥Program Files¥Maple Network Tools¥FLEXlm¥<version>¥windows** へ移動してください。
※<version> は、FLEXlmのバージョン名。（例：11.13.1.2）

Win64

2. **lmtools.exe** をダブルクリックして LMTTOOLS を起動してください。



Win64

3. [Config Services] タブを選択し、必要項目を入力してください。

項目が入力できたら、[Use Services] にチェックを入れ [Save Service] をクリックして設定を保存してください。

- Service Name - (必須) 登録するサービスの名前を入力 (下記画面では、"maple" を入力しています。)
- Path to the lmgrd.exe file - (必須) lmgrd.exe へのパスの入力 (*1)
- Path to the license file - (必須) ライセンスファイルまたはライセンスファイルのあるフォルダへのパスの入力 (*2)
- Path to the debug log file - (必須) デバッグログファイルを作成する場合、ログファイルのパスの入力 (*3)

*1 - 通常、**C:\Program Files\Maple Network Tools\FLEXIm\<バージョン>\windows\lmgrd.exe** になります。

*2 - 通常、**C:\Program Files\Maple Network Tools\activate** になります。

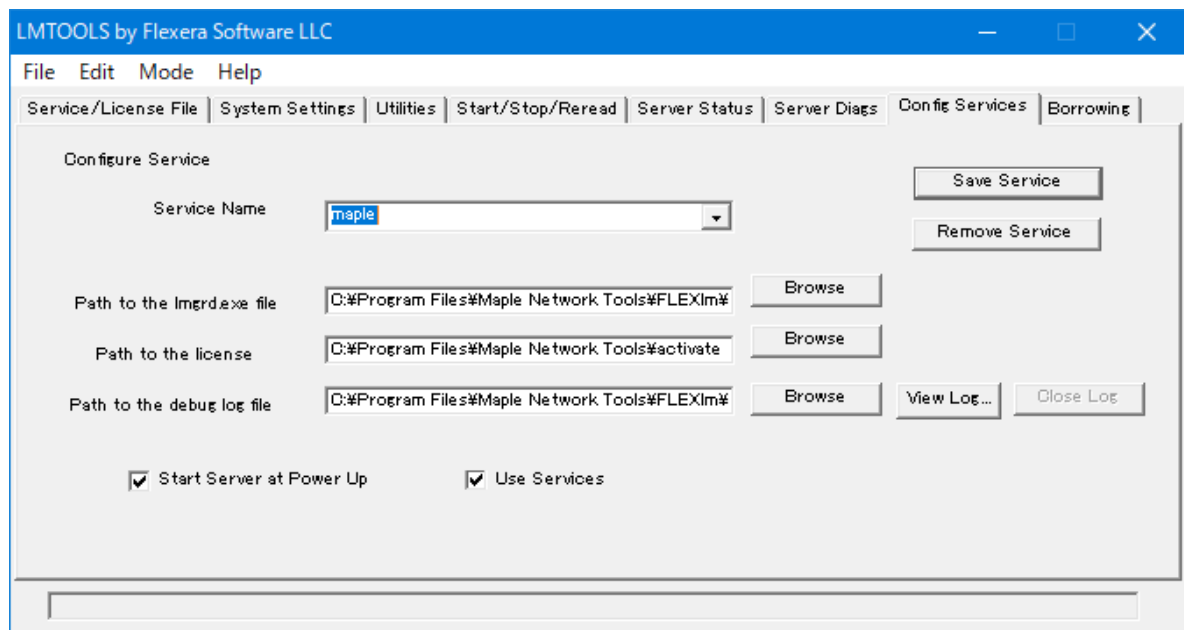
ライセンスを格納したフォルダを指定することで、複数製品のライセンスを同時に管理することが可能です。

ただし、Maple のライセンスファイルのみを管理する場合は、

C:\Program Files\Maple Network Tools\activate\Maple****.lic

と、ライセンスファイルでの指定も可能です。(**** は Maple のバージョンです。適宜置き換えてください。)

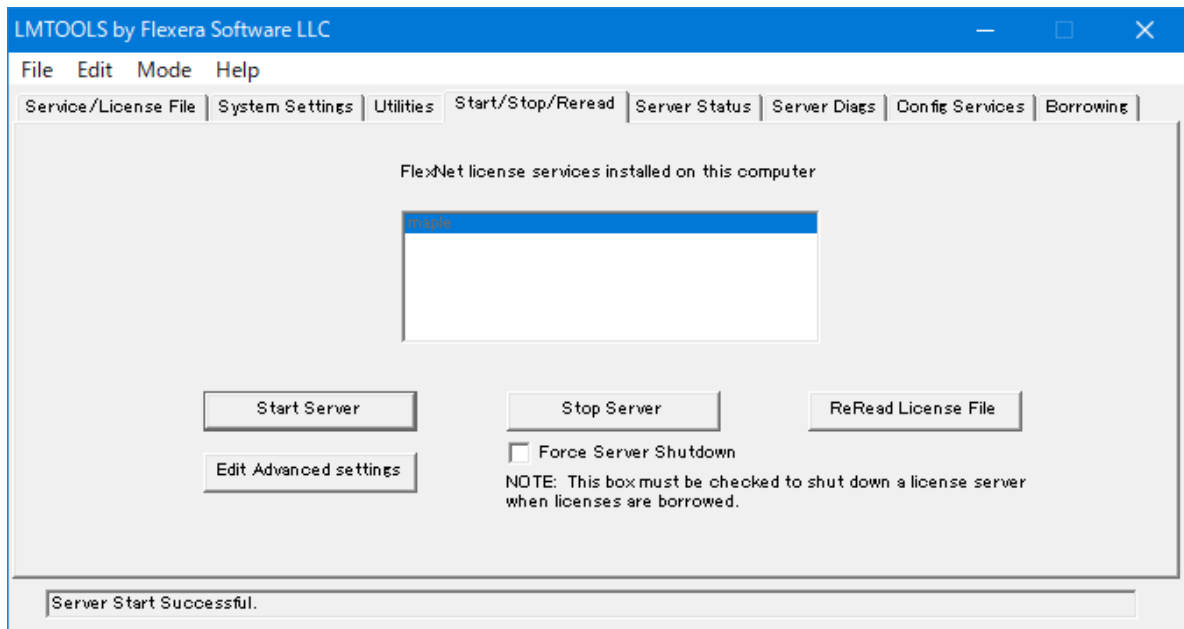
*3 - **C:\Program Files\Maple Network Tools\FLEXIm\<バージョン>\windows\log.txt** を推奨します。



※[Start Service at Power Up] にチェックを入れると PC 起動時にライセンスマネージャが自動で起動されます (推奨)

Win64

4. [Start/Stop/Reread] タブを選択し、先ほど登録したサービス名を選択し、[Start Server] をクリックしてください。下部に「Server Start Successful.」と表示されましたら、ライセンスマネージャが正常に起動したことになります。



うまく行かない場合は、「Force Server Shutdown」にチェックを入れ、[Stop Server] を押します。

下部に Stopping Server と表示された後、「Force Server Shutdown」のチェックを外し、[Start Server] を押します。

Win64

5. 以上でライセンスマネージャのインストールおよび設定が完了です。

重要：ファイアウォールでのポートの開放設定

lmgrd.exe と maplelmg.exe の**双方**について、サーバマシンおよび Maplesoft 製品を利用するクライアントマシンの両方で、Windows ファイアウォールの設定で「使用ポート番号の開放（受信および送信）」の設定・確認をしてください。

<https://faq.maplesoft.com/s/article/License-Server-Setup-Tips?language=ja>

（その他のファイアウォール、セキュリティソフトウェアをご利用の場合は、各マニュアルに従い設定を行ってください。）

macOS:

macOS

1. ターミナルを起動させます。

/Users/<username>/Maple Network Tools/FLEXIm/<version> へ移動してください。

※<username> は、ユーザ名を入力してください。

※<version> は、FLEXIm のバージョン名を入力してください。(例 : **11.13.1.2**)

2. 次のコマンドを入力し実行してください。

./lmgrd -c <license_path> -l <debug_log> &

※ <license_path> はライセンスフォルダへのフルパス。(必須)

(Maple のみインストールの場合は、Maple ライセンスファイルへのフルパスで可)

例) **/Users/<username>/Maple Network Tools/activate**

※ログファイル (log.rtf) を作成する場合、「-l」を入力し <debug_log> にはログファイルのフルパス。(任意)

3. 以上でライセンスマネージャのインストールおよび設定が完了です。

Linux:

Linux

1. ターミナルを起動させます。

/home/<username>/MapleNetworkTools/FLEXIm/<version> へ移動してください。

※<username> は、ユーザ名を入力してください。

※<version> は、FLEXIm のバージョン名を入力してください。(例 : **11.13.1.2**)

2. 次のコマンドを入力し実行してください。

./lmgrd -c <license_path> -l <debug_log> &

※ <license_path> はライセンスフォルダへのフルパス。(必須)

(Maple のみインストールの場合は、Maple ライセンスファイルへのフルパスで可)

例) **/home/<username>/MapleNetworkTools/activate**

※ログファイル (log.txt) を作成する場合、「-l」を入力し <debug_log> にはログファイルのフルパス。(任意)

3. 以上でライセンスマネージャのインストールおよび設定が完了です。